

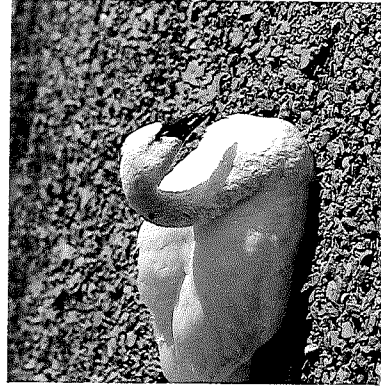


高野池のアメリカコハクチョウ

## アメリカコハクチョウについて



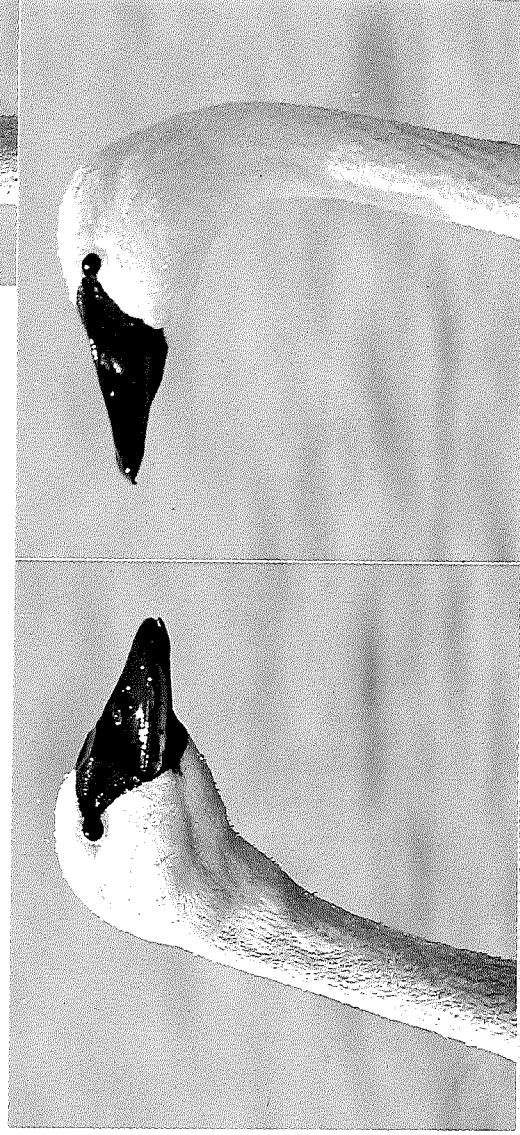
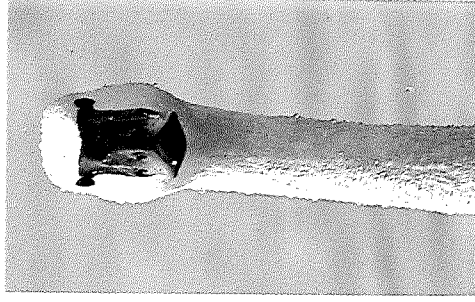
茶屋沼のアメリカコハクチョウ



▲北海道様似川の  
アメリカコハクチョウ

## 岩手県

北上川に渡来したアメリカ  
コハクチョウ。左側に少々  
黄色い線があります。



北上川のアメリカコハクチョウファミリーとオオハクチョウ(右)

# 先シーズン国内で観察されたアメリカコハクチョウについて

松 井 繁

アメリカコハクチョウ（以下アメコと略）とペアで先シーズン渡来したコハクチョウ（以下コハクと略）及びその幼鳥の嘴峰のパターンについて、福島の高木博さんが今号のカラー写真で説明して下さいました。

私は盛岡研修会のあと、3月下旬に、再び北上川に、アメコ“黒”をたずね、また八木さんと高野池のアメコを観察に行きました。少しパターンを見てきて、北海道に彼らが渡来してきたら、個体識別ができるのではないかと、うめぼれて戻りました。けれども会員の星子廉彰さんが、砂川、月形で苦労して撮られた写真を見てもどうも識別ができませんでした。高野池の鈴木善行さんにも送って見ましたが、どうも不明でした。

それで、今シーズン私の所に寄せられたアメコの報告を整理して表にしましたが、どうも、アメコ夫婦は2組でなくまだ渡来していたと思えてなりません。観察日を見て考察の資料にしていきたいと思います。

なお北上川のアメコについて、日本野鳥の会北上支部の村瀬正夫さんが、整理された「北上に連続飛来しているアメリカコハクチョウ“黒”」という小冊子を下さいました。この一部を掲載して皆さんの考えを伺いたいと思います。なお村瀬さ

んはこの春から会員です。

## 「北上に連続飛来しているアメリカコハクチョウ」（抜粋）

今回同行の成鳥コハクチョウ1羽が雌であるらしく“黒”の挙動から“黒”が雄であり番（つがい）であって同行の2羽の幼鳥がこの番の子であるとするれば（かなり高い可能性を持つ）、幼鳥2羽が果たして鳥相としてアメリカコハクチョウに似るか、コハクチョウに似るかは今迄確認報告がないらしいだけに興味ある問題であり、アメリカコハクチョウとアジア系コハクチョウがその種が同一であり繁殖地が交絡する可能性も高いことから交雑の可能性も極めて高く、遺伝学知見に一石を投ずるものであることは想像に難くない。現在の観察では幼鳥の1羽はアメリカコハクチョウに似ており、1羽はコハクチョウに似ているのは筆者の臆見目かもしれない。

又、“黒”類似形のアメリカコハクチョウは別個体として3羽目の発見もあり、嘴がほとんど真黒で僅かに目頭から黄色残痕のあるものはそれ程珍しくはないのかもしれない。

## 国内で観察されたアメリカコハクチョウ

（昭和62年～昭和63年）

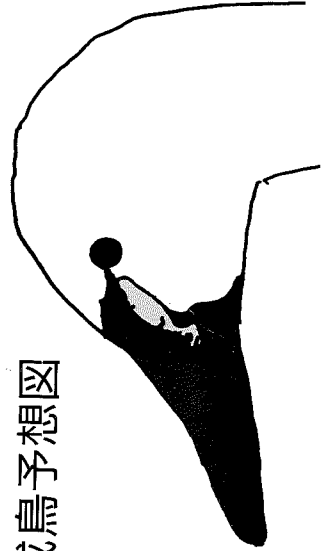
初認日	渡去日	渡来地	観察者	渡来数	備考
62年10月18日	不明	ウトナイ湖 （北海道）	星子廉彰さん	成鳥1羽	
62年10月23日	63年4月15日	北上市北上川 （岩手県）	日本野鳥の会 北上支部	成鳥1羽・コハクとペア 幼鳥2羽	北上川と新堤間を往来する。
62年11月7日	63年4月9日	高野池 （福島県）	鈴木善行さん	成鳥1羽・コハクとペア 幼鳥4羽	
62年11月14日	63年4月3日まで 確認その後不明	浦河町幌別川 様似町様似川 （北海道）	山本 淳さん 金子寛康さん	成鳥1羽	幌別川、様似川を往来する。
62年11月14日	62年11月14日	廻堰大溜池 （青森県）	川口 紘さん	成鳥1羽・コハク（三上II型）とペア 幼鳥2羽	
63年4月3日	不明	紋別市 シブノツナイ （北海道）	大塚恭司さん	成鳥1羽・コハクとペア と考えられる。	
63年4月17日	不明	砂川市袋地沼 （北海道）	星子廉彰さん	成鳥1羽	
63年4月27日	不明	月形町月ヶ湖 （北海道）	星子廉彰さん	幼鳥1羽	





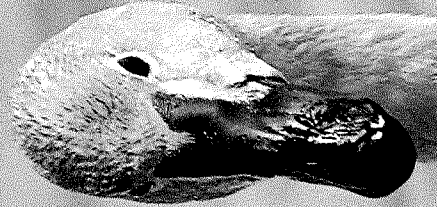
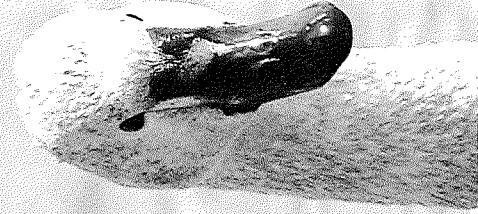
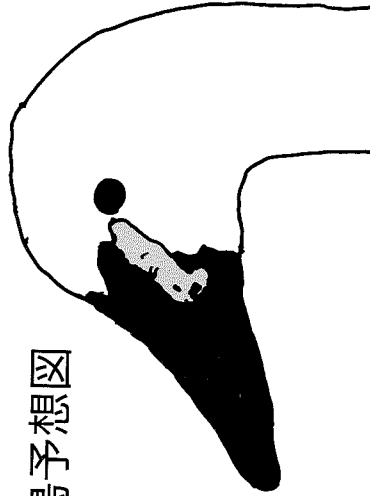
オス親にもっとも似ている。黄色の部分  
部分が4羽の中では最も細い。

成鳥予想図

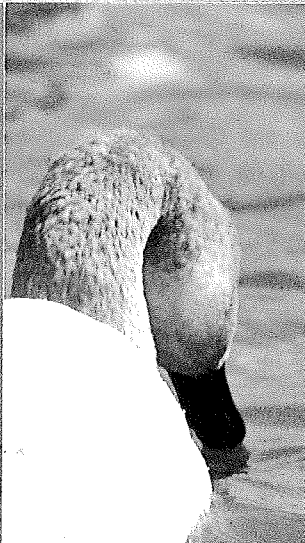
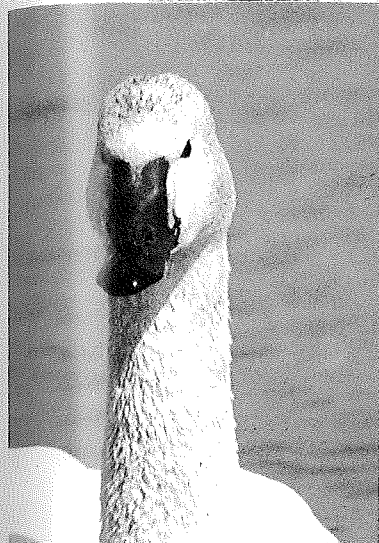


目のまわりが白い輪になっている。  
正面像の切れ目が深い。

成鳥予想図

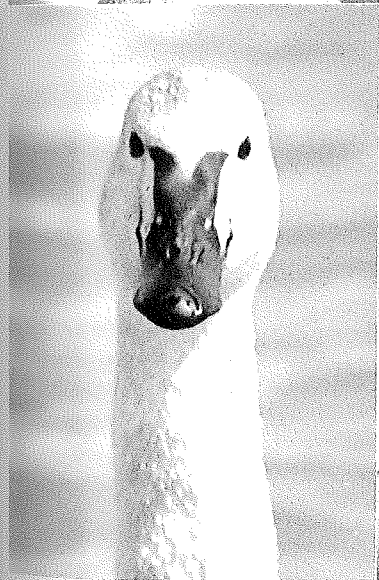


クロボシ



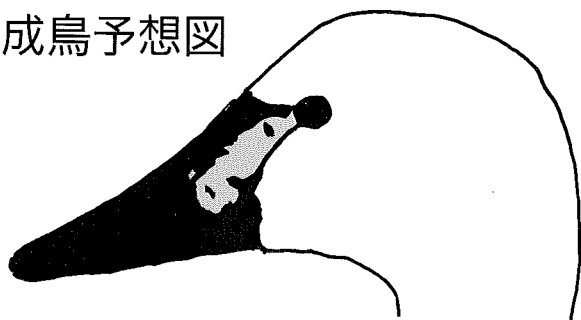
正面像はメジロより浅く、下口ばしの線が切れている。黄色い部分がメジロよりは広い。

成鳥予想図



正面像に白いホシが両側にあり、口ばしの裏側は黄色い部分がある。外の3羽は裏側は全部黒い。

成鳥予想図



シロボシ

